

●受難主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十一編」

主の慈しみに生きる人はすべて、主を愛せよ。

主は信仰ある人を守り

傲慢な者には厳しく報いられる。



わたしは復活であり、いのちである

ベタニアという村に住む、主が親しくされているマリヤとマルタから、人がやってきて、「主よ、あなたの愛しておられる者、ラザロが病氣なのです」と言いました。「主が愛しておられる者」、また「私たちの友」とも呼ばれるラザロが病氣との伝言。格別な人の病。しかも20キロ以上離れたところまで人を遣わすほど容体は思わしくなく、急いで来てほしいことでした。ところが、主は「この病氣は死で終わるものではない。神の栄光のためである。神の子がそれによつて栄光を受けるのである」と言われ、ベタニアへは赴きませんでした。「死で終わらない」と告げられたのですが、ラザロは死んだのです。マルタとマリヤは悲しみ、村の人たちと共にラザロを葬る間も、主はなお同じところに二日間、滞在されていました。

主の一行がベタニアに着くと、マルタは迎えに行きました。もう一人の姉妹、マリヤは迎えにも行かず、家の中にいました。迎えに出てきたマルタから、最初に出た言葉は「主よ、もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに」というのでした。すなわち、あの時、来てくださったなら、兄弟は死ななかつた。あの時、すぐに来られたなら、間に合つたのということです。マルタは続けて言います。「しかし、あなたが神にお求めになることは何でも、神はお与えになることを、私は今でも知っています」と。間に合わず、死んだのですが、それでもあなたを信じているということでした。

主は「あなたの兄弟は復活する」と言われました。マルタは「終わりの日の復活の時に復活することは知っております」と答えたのです。復活するのは終わりの日。だが、今はラザロが死んだので、もう手の打ちようがない。もう遅いということでした。

マルタは、主が来られたことを知っていながら、未だ家の中にいるマリヤを呼びに戻りました。マリヤが出てきて主の前にひれ伏すと、なんと挨拶の言葉もなく、すぐ「主よ、

もしここにいてくださいましたら、私の兄弟は死ななかつたのに」と言つたのでした。マリヤも「あの時、主が来てくださったらなかつたから」という心でした。そのマリヤが泣き始めると、他の人たちも一緒に泣き始めたのです。主はそれを見て、憤りを覚え、心を騒がせられたのです。この後、主はもう一度、憤られます。ある者たちが「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死ななかつたようにしてはできなかったのか」と言つたからです。死と無縁な方、生と死を司る方、復活であり、いのちである方をまるで死の前では無力、自分たちと同じく死の支配下にあるかのように言う、人々の不信仰を見るのです。

主はラザロが葬られた墓に行かれました。墓は洞穴で、石でふさがれていたのですが、主は「その石を取りのけなさい」と話されましたが、マルタが「主よ、四日もたつていますから、もうにおいます」と答えました。主は「信じるなら、神の栄光が見られると、言つておいたではないか」とお叱りになりました。人々が石を取りのけると、天を仰いで祈り、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれたのです。すると、死んだラザロが、手と足を布で巻かれたまま出て来たのです。死んで四日も経つた人が目の前に出てきたのでした。

これまで「間に合わなかつた。どうしてあの時に来てくださったらなかつたのか。盲人の目を開けた人が死ななかつたようにできなかったのか。もう匂います」などの人の言葉がすべて、この方の前で、空しくされました。死に屈服し、死が君臨する世界の言葉がまったく空しくされたのです。

主イエスは復活です。死の力がこの方には無力、何もできない。これこそ「ハレルヤ」、私たちの信仰の根幹にあるものです。「死んでも生きる」とは、まさに、罪ゆえに死ななければならぬ、人への福音です。罪ゆえに死の下で、死に屈服しなければならぬ、死の奴隷の状態から、キリストはご自分の羊たちをその「罪」の束縛から救い、また「死」の束縛からも救い出す方、復活であり、いのちである方です。

2023年度

教会全体課題

日々聖書に聴き、

御言葉に従って歩む。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。これを飲んで成長し、救われるようになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

《今日のお知らせ》

- 本日は礼拝後、特別な集会はありません。
- 二八日(木)午後七時より、聖晚餐礼拝を行います。
- 三一日(日)はイースター礼拝です。午前九時三〇分と一時の二回礼拝です。

○ 受難節を過ごしています。この一年、受けた恵みを原稿用紙二枚(八〇〇字以内)で書きいただき三〇日までにご提出ください。メールでの提出も受け付けます。

アドレスは Tent@gloria-chapel.com です。

《ぶどうの会より》

礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《教会学校より》

イースター第一礼拝は教会学校との合同礼拝です。教会学校生徒、ご家族のご参加が見込まれます。教会員の皆さまはご無理のない範囲で、第二礼拝にご出席をお願いします。

《手仕事の会 オリーブより》

次週三月三十一日の第一礼拝後と午後のプログラム後の二回、おなじみのケーキの販売をいたします。一本一〇〇〇円ですので、お釣りがありませんようにご用意いただけますと嬉しいですよ。場所は、園庭を予定しています。

《ロビーの会より》

次週三一日(日)イースター礼拝の第一礼拝後ロビーにて、コーヒーサービス(茶菓付き)があります。お手持ちのコーヒーサービス券もご使用いただけます。皆様ぜひお越しください。

《今後の予定》

- 三月二八日 聖晚餐礼拝(午後七時より)
- 三月三一日 イースター礼拝
(午前九時半、
一一時からの二回礼拝)
- 四月七日 役員任職式
信仰者に学ぶ会
- 四月九日 附属幼稚園入園式

《今日の讃美歌

現 代語訳

讃美歌 138番

1. ああ、主は誰のために、この世にくだられ
これほどまでの苦しみをお受けになったのか
2. 私のために十字架で苦しまれた
この上ない御恵みは、はかりしれない
3. 罪のない神様の御子が罪を負われれば
輝く太陽も隠れて闇となる
4. 十字架のみもとで心が締め付けられ
涙にむせびながらただひれ伏す
5. 受けた御恵みに涙では報いることはできない
この身をお捧げする他にはない

2024年度

役員会組織

新年度役員会は二〇日に行われた組織会にて、二〇二四年度の役員会組織を左記のように定め、承認しました。

● 運営委員会

- 書記 山名弘史
- 副書記 石川 一
- 財務 山下純一
- 副財務 楠浩介

● 礼拝伝道委員会

- 井手 英利史
- 大友 初枝
- 神山 宜紀
- 杉田 博
- 館山 智紀

● 教育奉仕委員会

- 荒美 俊三
- 川越 啓子
- 上原 利之
- 三澤 茂夫
- 三澤 えり子

《今日の子ども礼拝》

- 説教 「十字架の主、人の罪」
- 聖書 マタイ27章27〜44節
- 説教者 宮間 彰広 兄

《聖晚餐礼拝》

- 讃美歌 142番 268番
- 説教 「わたしが願うことではなく」
- 聖書 マルコ14章32〜42節
- 説教者 黄允湜 牧師

《次週の礼拝》

イースター礼拝

- 第一礼拝 (午前9時30分)
- 讃美歌 II 131番 148番
- 説教 「死よりも強い神の愛」
- 聖書 使徒2章22〜28節
- 説教者 吉村 和雄 名誉牧師

● 第二礼拝 (午前11時)

- 讃美歌 II 131番 147番
- 説教 「復活の主に会う」
- 聖書 ルカ24章13〜35節
- 説教者 黄允湜 牧師



主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 140番 138番
説教 「人の代わりに死ぬ」
聖書 ヨハネ11章45～57節(新約P.190)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「幻想曲ハ短調」J.S.バッハ

○ 讃美歌140番

1. いのちのいのちに ましますイエスよ
主イエスはわがため その身をすてて
ほろびのふちより みちびきいだし
くちぬいのちを あたえたまえり
2. ああ主よ 主イエスは はじめをしのび
わがためのろいを 身に負いたまい
あくまのわなより すくいいだして
とわのやすきを さずけたまえり
3. ああ主はわがため 十字架をとりて
たかぶりおごりを みなうちくだき
死ぬべき罪より あがないいだし
あまつさかえを えさせたまえり
4. わが身にかわりて 死にたるイエスよ
十字架をおおげば なぐさめつきず
なやみもおそれも すべて消えゆく
主のみめぐみは ありがたきかな

アーメン

○ 聖歌隊による讃美

「棕櫚の葉」 J.B.フォーレ 作曲
祭りのために棕櫚の葉
すべての道に飾られぬ
わが涙を拭うため
イエス来たりたもうこの日ぞ
喜び歌えよ
声を合わせて高らかに
ホザナ たたえよ

喜べエルサレムよ
自由の歌を響かせよ
とこしえの命の主
われらを解き放ちたもう
来たりて歌えよ
人みなは 声高らかに
ホザナ たたえよ
わが救い主にみ栄えあれ

○ 讃美歌138番

1. ああ主は誰がため 世にくだりて
かくまでなやみを うけたまえる
2. わがため十字架に なやみたもう
こよなきみめぐみ はかりがたし
3. とがなき神の子 とがを負えば
てる日もかくれて やみとなりぬ
4. 十字架のみもとに ころせまり
なみだにむせびて だひれふす
5. なみだもめぐみに むくいがたし
この身をささぐる ほかはあらじ

アーメン

聖餐曲「あなたも見ていたのか」 E.L.デイマー

後奏曲「いつわりの世に別れを告げ」 D.ウット

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。